

令和6年度（2024年度） 東海市幼児教育研究協議会事業報告

1 公開保育について

研究保育共通テーマ「子どもの深い学びにつながる保育を考える」

(1) 実施園及び内容

実施園	月 日	中 心 課 題	講 師	参加者
大堀保育園	8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもはどんな点に面白さを感じているか。 ・言葉で伝えようとする姿が出てきているか。どのような形で伝えようとしているのか。保育者はどのように支えているか。 ・ねらいを達成するための環境作りや働きかけはどうか。 ・子どもたちが得ている学びを言語化する。 	愛知淑徳大学 教授 岡田泰枝氏	28人 (幼3・保14・小5委6)
大田保育園	10月24日			24人 (幼4・保10・小1委9)
東海めぐみ幼稚園	10月31日			21人 (幼7・保5・委8)

(2) 指導案及び参加者の意見・感想より

《大田保育園》

保育者が着目したポイントとなる具体的な姿	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の読みとり
  <p>①自分たちで和帽子やハチマキを身につけて、気持ちを一つにして完成を目指している。</p> <p>②A「寿司屋は1種類10個あれば足りるよ」B「いくら寿司はあと〇個作れば完成だ」C「ガチャガチャはたくさんあると選べるね」と言いながら準備を進める。</p> <p>ホワイトボードに文字と写真の掲示により友達と文字や内容を共有。②文字を読める子も読めない子と一緒に文字文化に触れる。</p> <p>③「プリンってどの色？」と本物に近いフェルトを選ぶ。「中身が落ちないようにフェルトで蓋をしよう」</p> 	<p>①係りの友達と同じものを身につけることで気持ちが一つになり、自分たちの役割を遂行するため制作に取り組んでいる。</p> <p>【協同性】【言葉による伝え合い】 【自立心】【思考力の芽生え】</p>  <p>①ハチマキを付けて踊ったソーラン踊りで、気持ちを合わせたことを思い出してくれるといいな。</p> <p>保育者の願い</p> <p>②56人に対してA、Bの「〇個作るという感覚」と、Cの「たくさんあれば選べるから、とりあえず作りたい数だけ作る」というそれぞれの数量感覚の中で活発に意見交換して遊んでいる。それぞれ違う数量感覚だが子ども同士は通じ合えるのだな。</p> <p>②文字を読み合ったり、教えあったりして遊びの内容を把握している。</p> <p>【数量・図形、標識や文字への関心・感覚】【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】</p>  <p>③子どもの願いを叶えられるように素材を吟味して準備しよう。</p>



どうやって作るんだろう。○○ちゃんのをじっくり見て参考にしよう。

③A「ストローってここが曲がるね」B「ちょっと見せて。本当だね、(ジャバラが)「足のここ(膝)みたいだね」



「どうなってるの？
触らせて！」



保育者の振り返り

③色々な素材をたくさん準備したので、選択肢が増えて試行錯誤につながったな。

④保「工夫したところはどこかな？
困ったこともある？」



④グループごとに聞いて頭の中を整理させたい。



保育者の
願い

④「フェルトをのりでくっつけようとしたけど、くっつかなかったよ」「どうしたらセロテープが見えにくくなるの？」

④「先生の方を向いてね」「友達の意見はどう思う？」とグループごとに振り返る。マナーも自然に習得できる。

【道徳性・規範意識の芽生え】【言葉による伝え合い】【協同性】

④失敗から学んでいるなあ。接着剤の選び方や使い方を、自分の経験・知識を土台に友達の知識や姿を積み重ねて学びを深めている。

【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】

◆三つの資質・能力の視点から捉える

・「10の姿」の読み取りから、クラスの子どもの育まれている資質能力について整理する。

・①～④はドキュメンテーションの下線部分の数字

「知識及び技能の基礎」

③本物みたいにしたいという思いをもって素材を選び、友達に伝えたりアドバイスをもらったり真似したりしながら工夫して作る。
③プリンの色に近いフェルトを選んだり、中身が落ちないように工夫したり、ストローのジャバラ部分を曲げて人形の関節を作ったりする。

「思考力・判断力・表現力の基礎」

②各々違う数量感覚の中で会話をするが、子ども同士は通じ合える。
②文字を読み合ったり、教えあったりして遊びの内容を把握している。
③各自適正な素材を選び使いこなしている。

本物みたいに作りたい



一緒に頑張ろうね！

①友達と同じものを身につけることで気持ちが一つになり、自分たちの役割を遂行するため制作に取り組んでいる。
③製作している友達の手元をじっと見たり、時には触らせてもらったり、すぐれたところを真似したりして、自分の学びにつなげている。
④保育者が話しをするときは保育者の方を向こうとする。友達の意見に集中する。
④安心した環境の中で、失敗したことを保育者に伝え改善しようとする。

「学びに向か力・人間性」

◆一体的に育まれるとは

- ・子どもたちは、数日後に開催する「回転寿司」に小さい子を招くという目的に向かい、グループ活動をしている。運動会に全員がハチマキを巻いてダンスを踊ったときに感じた一体感を心地よく感じ、そのことを思い出し、それぞれがハチマキや和帽子をかぶって「回転ずし」に必要なものを作り始める。
- ・本物みたいに作りたいという思いを誰もが抱いていることを、担任は日頃の保育の様子からキャッチしていた。準備する素材と量を吟味したことにより、子どもはワクワクした思いを持ちじっくりと選択したり、友達の様子を真剣に見たり、積極的に方法を聞いたりして遊びの没頭につながり、それが学びの原動力となっている。
- ・保育者がグループごとに言葉をかけ振り返りを行ったことが、行動の振り返りにつながり、疑問に思ったことや失敗したことを共有する場になり、学びに向かう場となっている。

◎年長児になるまでに積み重ねた経験として…

- ・身の回りの色々な素材や材料の特徴を知り、それを使って自由に遊んだり試行錯誤する時間をしっかり確保されている環境の中で素材を使いこなしている。
- ・友達と連帯感を感じながらイメージを出し合って遊ぶ。
- ・受容的で応答的な関りの中で安心感を持って過ごし、保育者や友達に対して信頼感を持って生活する。また、成功も失敗も保育士や友達に伝え、共有できる関係性の中で経験を活かしつつ主体的に遊ぶことができるようになる。

講話 岡田泰枝氏

《深い学びのために何をしなければならないか》

- ①やってみたいと思う状況を作る。(導入にあたる) それには日頃の子ども理解をすること、子どもの実現が叶う環境構成を整えることが大切になってくる。
数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚は、各々違うが、違って良いし子ども同士はそれで通じる。
 - ②子どもの発達や環境に合わせて援助をしていく。子ども理解をもとに環境・援助・支援につなげる。子どものイメージを拾ってあげることができるような問いかけをする。
 - ③子どもは主体的に問題を見つけ解決していくことができ、それが喫緊に必要な能力となる。このことは、年少児の頃から身につけていくことが大切である。自分で情報を捉え、取捨選択していく力となることが大切である。4歳児の今の時期であれば(めぐみ幼)“マネ”をすることが大事で、それにより色々な表現方法を学んでいく。そのために視覚に訴えることを重視していく。
- *保育ドキュメンテーションは、現在は保育を可視化する教育的ドキュメンテーションが主流である。教育ドキュメンテーションの意義は子どもと一緒に参加・企画することであり、子どもと一緒に考えたり物事を振り返ったりすることは非常に大事である。
- *なぜそれを扱うのか?なぜ伝えるのか?
- ・“子どもが好きだから”で終わってはいけぬ。 “子どもが好きだから”に “+α保育者の意図”がないといけぬ。

2 幼稚園児と保育園児の保育交流

《東海めぐみ幼稚園と平洲保育園》

- ① 日 時 11月6日 10:00～11:20
- ② 場 所 東海めぐみ幼稚園
- ③ 参加人数 東海めぐみ幼稚園：5歳児22人 平洲保育園：5歳児40人

《上野台幼稚園と東山保育園》

- ① 日 時 11月11日 10:30～11:20
- ② 場 所 上野台幼稚園
- ③ 参加人数 上野台幼稚園：5歳児38人 東山保育園：5歳児29人

《明佳幼稚園と三ツ池保育園》

- ① 日 時 11月18日（金）10:40～11:20
- ② 場 所 三ツ池公園
- ③ 参加人数 明佳幼稚園：5歳児105人 三ツ池保育園：5歳児24人

<ねらい>

- ・小学校接続に向け、再会を楽しみにする気持ちを持つ。
- ・同じ小学校へ就学することを楽しみにしながら友達と交流する。

<内容>いずれもグループの大きさを配慮して実施する

- ・カードめくりゲーム・園庭で鬼遊び・遊戯室で同じリズム遊び・転がしドッチボール

<成果・効果・課題>

- ・当日を楽しみにしており、他園の友だちと一緒に楽しむ姿が見られたり、就学を楽しみにする言葉を口にし、また会えることを期待したり、お別れの際に別れを惜しむ様子が見られたりした。短い時間ではあるが、交流をもつ場は大切だと感じた。
- ・他園の先生と子どもの関係性の良い点を多く見る事ができた。
- ・交流を通して友達の輪を広げることができるため、今後も交流の場を設けていきたい。
- ・子どもは他の園児を意識している様子であったが、あまり広い場所だと気持ちを交流することが深めにくいため、交流場所も考慮したい。

3 保育参観・研究協議

渡内保育園

令和7年（2025年）1月30日（木）13:20～15:30

富木島保育園

令和7年（2025年）2月13日（木）13:20～15:30

横須賀保育園

令和7年（2025年）2月14日（金）13:20～15:30

三ツ池保育園

令和7年（2025年）1月28日（火）13:20～15:30

4 その他

第3回幼児教育研究協議会

令和7年（2025年）2月18日（火）15:00～

東海市役所501会議室